

# 令和4年度(5年産)ビール大麦等生育概況⑤

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和5年3月6日

(調査基準日3月5日)

- 2月21日以降の平均気温は平年より高く推移し、生育量は平年より多い。
- 本場におけるニューサチホゴールドの幼穂長は3月6日現在、11.0mmである。
- 今後気温が高くなる見込みであり、莖立期が平年より早まると予測される。

## 【2月下旬～3月上旬(2月21日～3月5日)の気象概況】

宇都宮市の平均気温は平年より高めに推移し、6.2℃(平年差+0.9℃)であった。降水量は0mmと平年より少なく、日照時間は平年より多かった(平年比116%)。

## 【3月上旬(3月6日)の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドの生育は、平年に比べ草丈は113%、莖数は132%であり、葉齢は1.0枚多かった。葉色値(SPAD)は平年比105%であった。幼穂長は108%、幼穂長は113%、幼穂分化程度は「X期」であり、平年より1.0ステージ進んでいる。全体として生育は平年より進んでいる。

本年の積算温度は平年を上回っており、今後も気温が高くなる見込みであることから、本年の莖立期は平年(サチホゴールド3月15日、ニューサチホゴールド3月16日)より早くなると予測される。

## 【今後の気象動向(気象庁季節予報令和5年3月2日発表より引用)】

- 3月前半は気温がかなり高くなる見込みです。
  - ・向こう1か月の平均気温は、平年より高い確率が70%
  - ・降水量は、平年より少ない確率が40%
  - ・日照時間は、平年より多い確率が40%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 03/04～04/03	10	20	70
		1週目 03/04～03/10	10	10	80
		2週目 03/11～03/17	10	30	60
		3～4週目 03/18～03/31	20	30	50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 03/04～04/03	40	30	30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 03/04～04/03	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※1週目 : 3月4日～3月10日  
 2週目 : 3月11日～3月17日  
 3～4週目 : 3月18日～3月31日

## 【今後の管理】

### 1) 踏圧（麦踏み）

茎立期直前までに1～2回実施するのが望ましい。幼穂長は十分目視できるので、確認した上で作業を行う。

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

### 2) 排水対策

今後の降水に備え、できるだけ早期に明きよの整備を行う。

整備のポイント

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない（埋まっていたらさらう）。

出穂期以降の湿害は、生育遅延、枯熟れ等で収量や整粒歩合の低下、細麦など子実の充実を著しく阻害するため、適切な排水対策を行う。

### 3) 雑草対策

今後気温が高くなるにつれ徐々に雑草が大きくなっていく。雑草が多いほ場では、時期を逃さないよう除草剤を使用し、早めの雑草防除を行う。

★農薬は使用前にラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使う★



写真 ニューサチホゴールドの生育状況（農試本場、3月7日）

## 【調査結果】

表2. 農試本場（宇都宮市）における生育概況（3月6日）

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢	葉色 SPAD	正規化	幼穂長 mm	幼穂長 mm	幼穂 分化程 度
						植生指 数 NDVI			
ニューサチホ ゴールドデン	本年	19.8	2061	8.3	43.9	0.65	11.0	4.0	10.0
	前年	13.5	1611	6.5	41.1	0.51	5.3	2.4	8.3
	比・差	<b>147%</b>	<b>128%</b>	<b>1.8</b>	<b>107%</b>	<b>127%</b>	<b>210%</b>	<b>168%</b>	<b>1.7</b>
	平年	17.5	1560	7.3	41.9	0.60	10.2	3.5	9.0
比・差	<b>113%</b>	<b>132%</b>	<b>1.0</b>	<b>105%</b>	<b>109%</b>	<b>108%</b>	<b>113%</b>	<b>1.0</b>	
サチホ ゴールドデン (参考)	本年	20.8	2087	8.4	44.7	0.68	9.8	3.7	10.0
	前年	13.2	1464	6.4	41.4	0.48	5.1	2.4	8.7
	比・差	<b>157%</b>	<b>143%</b>	<b>2.0</b>	<b>108%</b>	<b>142%</b>	<b>191%</b>	<b>150%</b>	<b>1.3</b>
	平年	16.6	1471	7.3	41.4	0.59	9.4	3.3	9.1
比・差	<b>125%</b>	<b>142%</b>	<b>1.1</b>	<b>108%</b>	<b>115%</b>	<b>104%</b>	<b>110%</b>	<b>0.9</b>	
シュンライ	本年	12.9	1595	7.4	52.4	0.62	5.6	2.3	7.9
	前年	8.3	951	5.5	45.1	0.40	3.9	1.7	5.3
	比・差	<b>156%</b>	<b>168%</b>	<b>1.8</b>	<b>116%</b>	<b>1.54</b>	<b>143%</b>	<b>139%</b>	<b>2.6</b>
	平年	12.9	1146	6.7	46.1	0.60	6.0	1.9	7.0
比・差	<b>100%</b>	<b>139%</b>	<b>0.7</b>	<b>114%</b>	<b>103%</b>	<b>93%</b>	<b>124%</b>	<b>0.9</b>	
さとのそら	本年	14.7	1884	8.1	52.1	0.64	6.4	1.3	6.0
	前年	11.3	1225	6.5	46.6	0.45	3.8	1.0	4.3
	比・差	<b>131%</b>	<b>154%</b>	<b>1.5</b>	<b>112%</b>	<b>143%</b>	<b>167%</b>	<b>137%</b>	<b>1.7</b>
	平年	16.5	1540	7.8	46.1	0.65	7.3	1.4	5.9
比・差	<b>89%</b>	<b>122%</b>	<b>0.3</b>	<b>113%</b>	<b>98%</b>	<b>88%</b>	<b>93%</b>	<b>0.1</b>	

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X：10 X以降：11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値ニューサチホゴールドデン及びサチホゴールドデン：平成25～令和3年度（9年間）

シュンライ、さとのそら：令和元年～令和3年度（3年間）

## 【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色、NDVI)抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期：11月7日(前年11月8日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m<sup>2</sup>設定

施肥：

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	7.0	9.0	7.0	BB ビール麦エース 14-18-14 50kg/10a

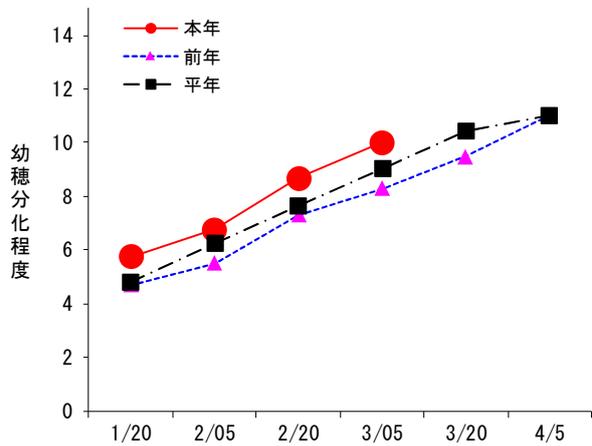
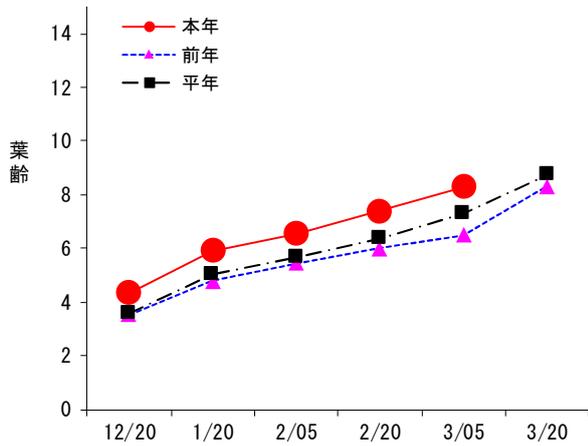
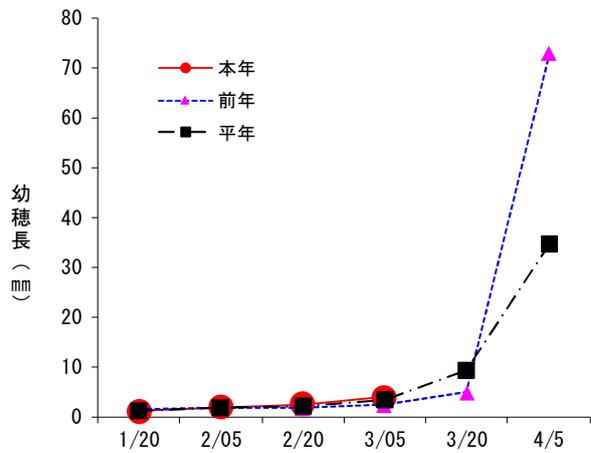
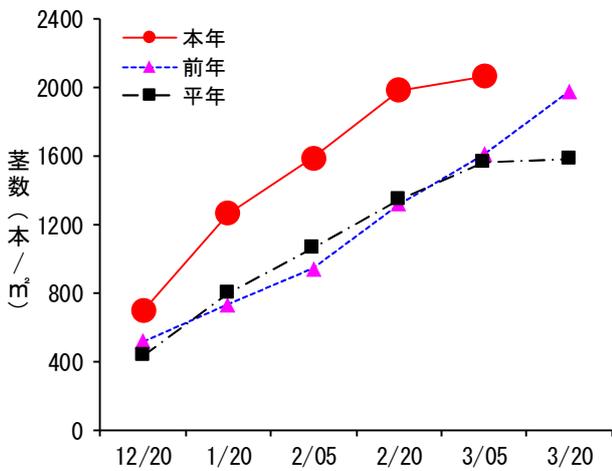
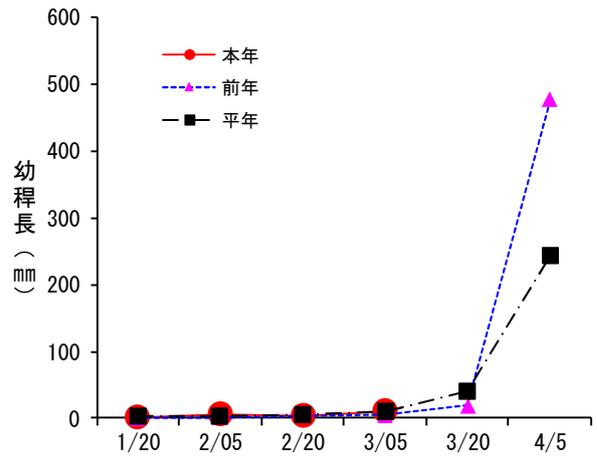
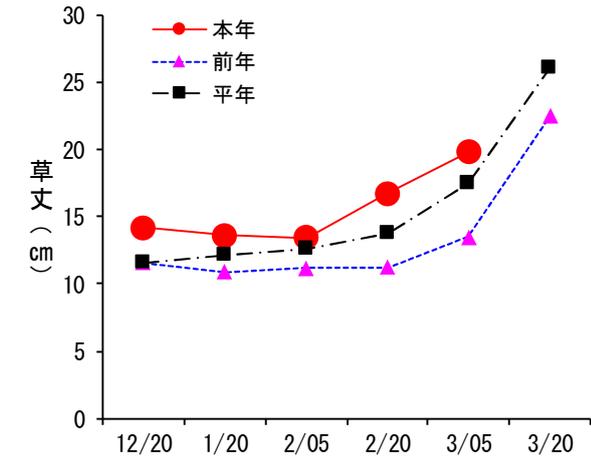
※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用

※重焼燐2号200kg/10a、苦土炭カル100kg/10aを施用

※3月6日現在、追肥は行っていない

踏圧：12月14日、12月21日、1月5日、1月20日、2月6日、2月21日

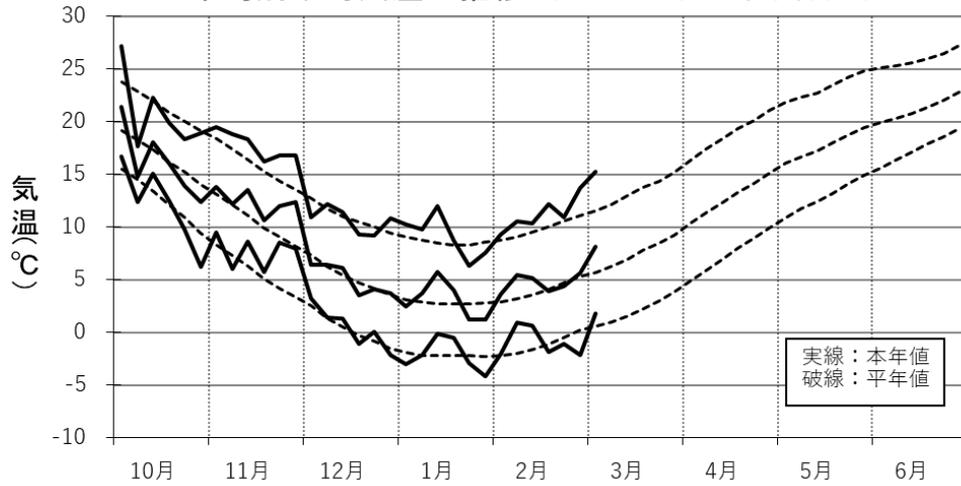
【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



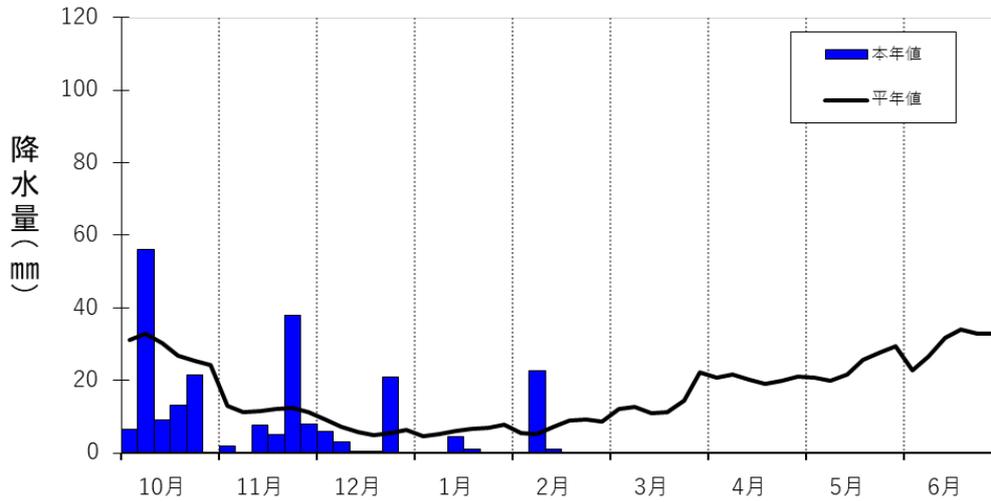
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換  
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7  
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

## 【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)

